

田布施町における公共交通と暮らしの利便増進に向けた三方よしの移動環境づくり

田布施町地域公共交通共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	田布施町経済課
事業実施地域	田布施町
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 商業・農業
共創パートナー	田布施町社会福祉協議会・原田タクシー有限会社・防長交通株式会社・共同組合田布施地域交流館・田布施町高齢者いきいき館・徳山工業高等専門学校
運行形態	乗合タクシー（AIデマンド交通）（自家用有償旅客運送）
運行主体	田布施町

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

現在田布施町ではJR山陽線と防長交通が幹線交通を担っている。しかし町内を網羅する公共交通が運行されておらず、高齢者のみを対象とする田布施町社会福祉協議会が運行する買い物送迎サービスが代替している。そのため、全ての住民に対して、自由な町内移動を可能にするフィーダー交通（自家用有償旅客運送）を構築し、幹線交通との接続性を向上させる。さらに、町内の生活拠点施設と連携したお出かけの目的側の充実を図り、その効果を検証することを目的とする。

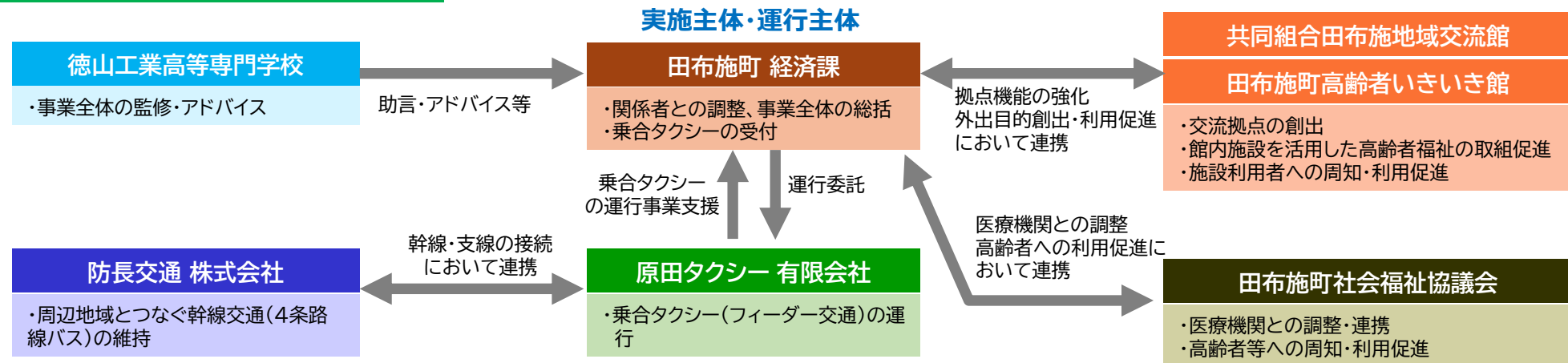
（事業の概要）

社会福祉協議会、各地区公民館、町内タクシー事業者、バス事業者、地域内交流施設、商業・医療施設と連携・共創し、①高齢者以外の住民も利用可能な町内予約型乗合タクシーの運行、②広域幹線との乗継利便性向上、③地域内交流施設の交通と生活の拠点化、④商業・医療施設と連携した乗合タクシーの利便性向上、⑤様々な関係主体が関わる利用促進と高齢者移動のサポートを行う。

田布施町における公共交通と暮らしの利便増進に向けた三方よしの移動環境づくり

田布施町地域公共交通共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

田布施町内では全ての住民の潤いのある暮らしや活動を支えるために、町内移動と周辺自治体への広域移動を支える交通が必要である。そのため、町が運行するフィーダー交通と4条路線バスが連携する交通体系を構築する。また、高齢者等のお出かけ環境を向上させるために、行政、生活拠点施設、公民館、社会福祉協議会等の様々な主体が連携し、公共交通の利用促進や高齢者の移動を中心とした生活を支援する意識の醸成と、具体的活動を支援する。

（実証事業により見込まれる効果）

全ての町民に対して町内の自由な移動が可能な交通体系を構築することができるとともに、広域幹線との乗継の利便性が向上し町内の公共交通による移動環境が大幅に向上する。

また、公民館、社会福祉協議会、町内の生活拠点や各種施設と連携・共創し、お出かけ環境の向上を図り高齢者等の活動の活性化を図ることができる。

田布施町における公共交通と暮らしの利便増進に向けた三方よしの移動環境づくり

田布施町地域公共交通共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

項目	担当	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
①運行計画および住民周知											
・運行計画の検討	田布施町	←→									
・住民説明会の開催	田布施町、社会福祉協議会、田布施地域交流館、高齢者いきいき館	←→			←→						
・住民周知用チラシの作成・配布	田布施町				←→						
②乗合タクシーの運行準備											
・車両購入	田布施町				←→						
・地域公共交通会議承認・申請	田布施町			←→							
・システム導入準備	田布施町、原田タクシー	←→									
③待合環境およびお出かけ環境向上策の検討											
・町内拠点施設・交通事業者との調整	田布施町、社会福祉協議会、田布施地域交流館、高齢者いきいき館、原田タクシー		←→								
・お出かけ環境向上のための関係主体との協議・調整	田布施町、田布施地域交流館、高齢者いきいき館		←→								
④実証実験	田布施町、社会福祉協議会、田布施地域交流館、高齢者いきいき館、原田タクシー、防長交通						←→				
⑤実証実験に係わる評価検証	田布施町								←→		
⑥とりまとめ、報告書の作成	田布施町										←→

(補助事業実施後の予定)

乗合タクシーの実証運行後の評価検証により改善点を整理して、改善運行サービスによる令和7年3月からの本格運行を開始する。
また、お出かけ環境向上施策の効果を把握して、町内の高齢者等の潤いのある暮らしの環境整備を継続的に推進する。